

危機管理連絡会議

日時：令和5年7月20日（木）午前10時

場所：県庁405会議室

協議事項

- 「熱中症に関する注意喚起」について

危機管理連絡会議 配席図(405会議室)

日時: 令和5年7月20日(木) 10:00~

危機管理環境部
次長

危機管理政策課長

県警本部警備部
警備課災害対策官

教育委員会
教育政策課副課長

病院局
総務課副課長

企業局
経営企画戦略課
副課長

西部総合県民局
地域創生観光部
次長

南部総合県民局
地域創生防災部
次長

健康づくり課
副課長

消防保安課
副課長

危機管理政策課
副課長

総合政策課
副課長

総務課副課長

未来創生政策課
副課長

県土整備政策課
副課長

農林水産政策課
副課長

商工政策課
副課長

保健福祉政策課
副課長

出入口

災対機器室

<暑さ指数を用いた指針>

暑さ指数 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安 ^(注1)	日常生活における注意事項 ^(注1)	熱中症予防運動指針 ^(注2)
31℃以上	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。 外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。	運動は原則中止 特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
28~31℃ ^(注3)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。	厳重警戒(激しい運動は中止) 熱中症の危険性が高いため、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10~20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。暑さに弱い人 ^(注4) は運動を軽減または中止。
25~28℃ ^(注3)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休憩を取り入れる。	警戒(積極的に休憩) 熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
21~25℃	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。	注意(積極的に水分補給) 熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。

(注1) 日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針Ver.3」(2013)より

(注2) 日本スポーツ協会「熱中症予防運動指針」(2019)より、同指針捕捉:熱中症の発症リスクは個人差が大きく、運動強度も大きく関係する。

運動指針は平均的な目安であり、スポーツ現場では個人差や競技特性に配慮する。

(注3) 28~31℃は28℃以上31℃未満、25~28℃は25℃以上28℃未満を示します。

(注4) 暑さに弱い人とは体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など。

暑さ指数(WBGT)の 入手方法

お出かけ前、運動前にこれからの暑さ指数(WBGT)をチェック!
明日、明後日の暑さ指数(WBGT)予測値はこちらから入手できます。

環境省熱中症予防情報サイト

<https://www.wbgt.env.go.jp>



クリック



熱中症警戒アラート 全国運用中!

熱中症警戒アラートは、**熱中症の危険性が極めて高い**暑熱環境になると予想される日の前日夕方または当日早朝に都道府県ごとに発表されます。
発表された情報はテレビ、防災無線、SNSを通じて発信されます。

報道機関
(テレビ・ラジオ)



〇〇県で熱中症警戒アラートが発表されました。
明日は熱中症予防行動を徹底しましょう。



防災無線



SNS



熱中症とは

暑い環境で体温の調整ができなくなった状態で、めまいや吐き気、頭痛、失神等様々な症状をきたし、最悪の場合は死に至る疾患ですが、下記のような**予防行動**を行えば防ぐことができます。

熱中症警戒アラート発表時は**徹底した予防行動**を!



エアコンを適切に
使用しましょう

- 昼夜問わずエアコン等を使用して温度調節をしましょう。



外出はできるだけ控え、
暑さを避けましょう

- 熱中症を予防するためには暑さを避けることが最も重要です。
- 不要不急の外出はできるだけ避けましょう。



熱中症のリスクが高い方に
声かけをしましょう

- 高齢者、子ども、持病のある方、肥満の方、障害者等は熱中症になりやすい方々です。これらの熱中症のリスクが高い方には、身近な方から、夜間を含むエアコンの使用やこまめな水分補給等を行うよう、声をかけましょう。



外での運動は、原則、
中止／延期をしましょう

- 身の回りの暑さ指数 (WBGT) に応じて屋外やエアコン等が設置されていない屋内での運動は、原則、中止や延期をしましょう。



普段以上に「熱中症予防行動」
を実践しましょう

- のどが渇く前にこまめに水分補給しましょう。(1日あたり1.2Lが目安)
- 屋外で人と十分な距離 (2メートル以上) を確保できる場合は適宜マスクをはずしましょう。
- 涼しい服装にしましょう。



暑さ指数 (WBGT) を
確認しましょう

- 熱中症を予防するためには暑さを避けることが最も重要です。
- 不要不急の外出はできるだけ避けましょう。



※環境省熱中症予防情報サイト: <https://www.wbgt.env.go.jp/>

学校やイベントの管理者等においては現場に応じた対応策をあらかじめ定め、
熱中症警戒アラート発表時には速やかに実行してください。

政府の熱中症対策

熱中症対策行動計画:令和4年度目標 適切な熱中症予防行動のより一層の定着



高齢者等の屋内における熱中症対策の強化

- 高齢者のための熱中症対策



(リーフレット)

管理者がいる場等における熱中症対策の促進

- 学校関係の熱中症情報



- 農作業中の熱中症対策



- スポーツの熱中症対策



- 防災における熱中症対策



(リーフレット)

- 学ぼう!備えよう!職場の仲間を守ろう!職場における熱中症予防情報



- 災害時情報提供アプリ「Safety tips」



For Android



For iPhone

新型コロナウイルス感染症対策と熱中症対策の両立

- 熱中症予防×コロナ感染防止で「新しい生活様式」を健康に



(リーフレット)

地域における連携強化

- 熱中症に関連する気象情報



- 熱中症から身を守るために



- 夏季における熱中症による救急搬送状況



- 健康・医療関係の熱中症情報



その他

- エアコンの早期の試運転について



- ヒートアイランド対策



- 無理のない省エネ生活



マイボトルで熱中症予防を!



内閣府



文部科学省



厚生労働省

MAFF

農林水産省



経済産業省



国土交通省



環境省

FDMA
住民とともに

消防庁



スポーツ庁



観光庁



気象庁



熱中症が 増えています

予防のためのポイント



熱中症警戒アラートを活用しましょう

アラート発表時には、

- エアコンを適切に使用しましょう
- 不要不急の外出は避けましょう
- 外での運動は、原則、中止/延期をしましょう
- 高齢者等に声を掛けましょう
- のどが渇く前に水分補給をしましょう



「熱中症警戒アラート」は環境省のLINE公式アカウントで確認することができます。

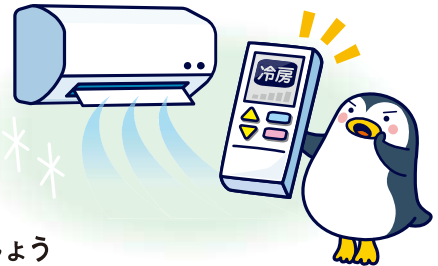
友達追加は
こちら➡



エアコンをしっかり使いましょう

熱中症は室内でも夜でも発生し、
命に関わる問題です

- 無理な節電をせず、夜もしっかり使用しましょう
- 日中はすだれなどで日差しを和らげるなど上手に使いましょう



マスクをはずしましょう

- 熱中症を防ぐために屋外ではマスクをはずしましょう
※近距離(2mが目安)で会話をするときはマスクの着用を
- 特に運動時には、忘れずにマスクをはずしましょう



屋外・屋内/
子どものマスクの
着用について



注意! 停電時など、どうしても エアコンが使えないときには

- 日光を遮り、風通しをよくしましょう
- 濡れたタオル等を肌当て、うちわであおぎましょう
- できる限り、冷房設備が稼働しているところへ避難しましょう
- 停電時の断水に備え、飲み水を備蓄しましょう
- 電力需給ひっ迫時には、浴槽やバケツに水を貯めておきましょう



熱中症予防に関するお役立ち情報

さまざまな場面ごとの熱中症予防対策をお伝えしています

熱中症予防情報サイト：熱中症警戒アラート・暑さ指数・熱中症予防に関する情報



高齢者等の屋内における熱中症対策の強化

- 高齢者のための熱中症対策



〈リーフレット〉

管理者がいる場等における熱中症対策の促進

- 学校関係の熱中症情報



- 農作業中の熱中症対策



- スポーツの熱中症対策



- 防災における熱中症対策



〈リーフレット〉

- 学ぼう!備えよう!職場の仲間を守ろう!職場における熱中症予防情報



- 災害時情報提供アプリ「Safety tips」



For Android



For iPhone

新型コロナウイルス感染症対策と熱中症対策の両立

- 熱中症予防×コロナ感染防止



〈リーフレット〉

地域における連携強化

- 熱中症に関連する気象情報



- 熱中症から身を守るために



- 夏期における熱中症による救急搬送状況



- 健康・医療関係の熱中症情報



その他

- エアコンの早期の試運転について



- ヒートアイランド対策



マイボトルで
熱中症予防を!



内閣府



文部科学省



厚生労働省

MAFF

農林水産省



経済産業省



国土交通省



環境省



消防庁



スポーツ庁



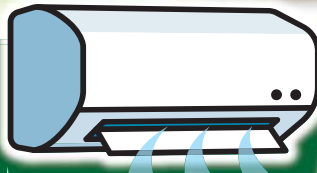
観光庁



気象庁

高齢者のための熱中症対策

熱中症の予防には、水分補給と暑さを避けることが大切です



部屋の中でも注意が必要です

エアコンを上手に使いましょう

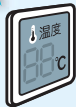
熱中症は、室内や夜間でも多く発生しています。エアコン使用中もこまめに換気をしましょう。

エアコンを上手に使いましょう

体に直接あたらないように風向きを調整しましょう

すだれやカーテンを
活用し直射日光を遮る

温度・暑さ指数
を確認する



換気をして屋外の
涼しい空気を入れる

暑いから
エアコン
つけてね!

扇風機や換気扇
を併用する

長時間、風が体に
直接あたらないように
注意しましょう

窓とドアなど
2カ所を開ける

さらに → 気をつけるべきポイント

+ 熱中症を防ぐために



マスクをはずしましょう

ウイルス
感染対策は
忘れずに!



近距離で
(2m以内を目安)
会話をする時は、
マスクの着用を

マスクをしてると
熱中症になりそう...



マスク着用時は

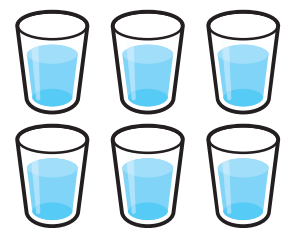
- 激しい運動は避けましょう
- のどが渴いていなくても
こまめに水分補給をしましょう
- 気温・湿度が高い時は特に注意しましょう



のどが渴いていなくても

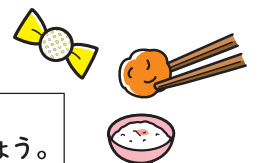
こまめに水分補給をしましょう

1日あたり
1.2L(リットル)を
目安に



コップ約6杯

- 1時間ごとに
コップ1杯
- 入浴前後や起床後もまず水分補給を
- 大量に汗をかいた時は
塩分も忘れずに



※水分や塩分の摂取量は
かかりつけ医の指示に従いましょう。

！高齢者は特に注意が必要です

1 体内の水分が不足しがちです

高齢者は若年者よりも体内の水分量が少ない上、体の老廃物を排出する際にたくさんの尿を必要とします。

2 暑さに対する感覚機能が低下しています

加齢により、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなります。

3 暑さに対する体の調節機能が低下します

高齢者は体に熱がたまりやすく、暑い時には若年者よりも循環器系への負担が大きくなります。

※心臓や腎臓の悪い方や持病をお持ちの方は、かかりつけの医師にご相談下さい。

●東京都23区における熱中症死亡者の状況(令和3年夏)

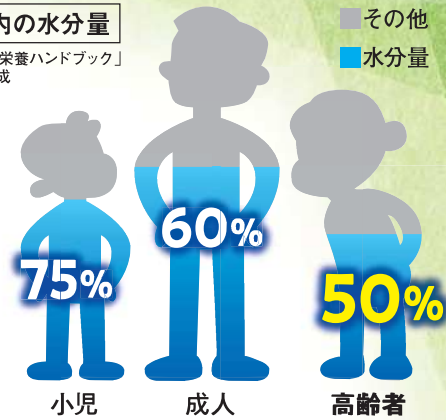
※計39人(速報値)のうち

約8割は65歳以上の高齢者

屋内での死亡者のうち 約9割は
エアコンを使用していなかった

体内の水分量

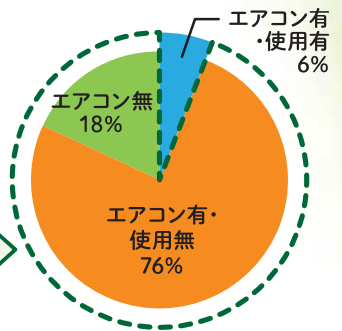
「輸液・栄養ハンドブック」より作成



エアコン設置有無・使用状況別

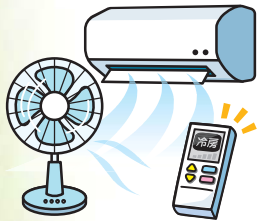
出典：東京都監察医務院

■ エアコン有 + 使用有
■ エアコン有 + 使用無
■ エアコン無

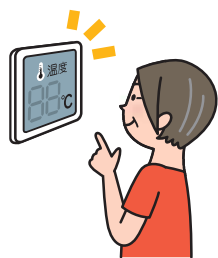


☑ 予防法ができているかをチェックしましょう

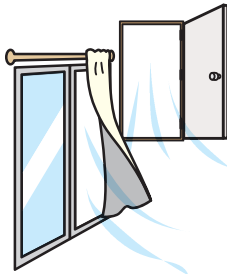
エアコン・扇風機を上手に使用している



部屋の温度を測っている



部屋の風通しを良くしている



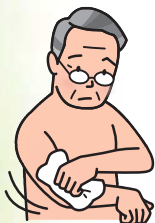
必要に応じてマスクをはずしている



こまめに水分補給をしている



シャワーやタオルで体を冷やす



暑い時は無理をしない



涼しい服装をしている
外出時には日傘、帽子



涼しい場所・施設を利用する



緊急時・困った時の連絡先を確認している



熱中症予防情報サイト

環境省 熱中症予防情報サイトからの情報をチェック! ▶▶ <https://www.wbgt.env.go.jp/>

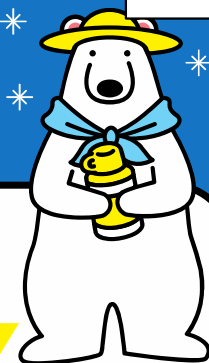
環境省では、暑さ指数(WBGT)の情報提供を行っております。令和3年度より全国展開している熱中症警戒アラートおよび、暑さ指数のメール配信等をご活用ください。

「熱中症警戒アラート」は環境省のLINE公式アカウントで確認することができます▶



友達追加はこちら

熱中症予防のために



暑さを避ける!

❄️ 扇風機やエアコンで
温度をこまめに調節



❄️ 遮光カーテン、すだれ、
打ち水を利用



❄️ 外出時には日傘や
帽子を着用



❄️ 天気のよい日は日陰の
利用、こまめな休憩



❄️ 吸湿性・速乾性のある
通気性のよい衣服を着用



❄️ 保冷剤、氷、冷たいタオル
などで、からだを冷やす



⚠️ 『熱中症警戒アラート』発表時には、外出をなるべく控え、暑さを避けましょう

こまめに水分を補給する!

❄️ 室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じていなくても
こまめに水分・塩分などを補給



● 熱中症予防のための情報・資料サイト

熱中症予防のための情報・資料



スマホでも
見れます



https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/

「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。

熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

熱中症の症状



! 応急処置をしても症状が改善されない場合は医療機関を受診しましょう

熱中症が疑われる人を見かけたら(主な応急処置)

❄️ エアコンが効いている室内や風通しのよい日陰など涼しい場所へ避難

❄️ 衣服をゆるめ、からだを冷やす
(首の周り、脇の下、足の付け根など)

❄️ 水分・塩分、経口補水液※などを補給
※水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの



チェック! 自力で水が飲めない、応答がおかしい時は、
ためらわずに救急車を呼びましょう!

119



ご注意

暑さの感じ方は、人によって異なります

その日の体調や暑さに対する慣れなどが影響します。体調の変化に気をつけましょう。

室内でも熱中症予防!

暑さを感じなくても室温や外気温を測定し、扇風機やエアコンを使って温度調整するよう心がけましょう。

高齢者や子ども、障害のある方は、特に注意が必要!

熱中症患者のおよそ半数は65歳以上の高齢者です。高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、暑さに対するからだの調整機能も低下しているので、注意が必要です。また、子どもは体温の調節能力がまだ十分に発達していないので気を配る必要があります。

こまめに水分補給





徳島救急医療 電話相談

急な病気やケガの際に、すぐに受診した方が良いのか、
医師や看護師が電話でアドバイスします。



プッシュ回線の
固定電話・携帯電話からは、
局番なしの

#7119



ダイヤル回線の固定電話、IP電話、
その他#7119をご利用いただけない場合

088-622-6530

相談日時

- 月曜日～土曜日
… 午後6時から翌朝8時
- 日曜日・祝日・年末年始※
… 24時間対応 ※12/29～1/3



15才未満のお子さんが急な病気やケガをしたときは、
『徳島こども医療電話相談（#8000 または 088-621-2365）』
にお電話を

【救急医療電話相談】

急な病気やケガをしたとき



局番なしの『#7119』または、
『088-622-6530』までお電話を



医師・看護師が電話で相談に応じます。



緊急・重症の場合は
迷わず **119** へ!!



徳島県

徳島

受診した方が良いのか、
様子をみても大丈夫なのか、
看護師や小児科医が電話でアドバイスします。

こども医療 電話相談



プッシュ回線の固定電話・携帯電話からは、局番なしの

#8000

ダイヤル回線の固定電話、IP電話、その他#8000をご利用いただけない場合は、

088-621-2365

(12/29~1/3)

相談日時 月曜日～土曜日：午後6時から翌朝8時 日曜日・祝日・年末年始：24時間対応

徳島
こども医療
電話相談

1 お子さんが急な
病気で心配なとき



2 局番なしの
#8000または、
088-621-2365
までお電話を



3 看護師・小児科医
が電話で相談
に応じます。



緊急・重症の場合は、迷わず **119** へ



小児救急医療体制については、徳島県ホームページ

医療とくしま

をご確認ください。



※右のQRコード又は、HPアドレス参照 <https://anshin.pref.tokushima.jp/med/docs/2012081600367/>

15才以上の方が、急な病気やケガをしたときは、
徳島救急医療電話相談

プッシュ回線の
固定電話・携帯電話からは、
局番なしの



#7119

または

ダイヤル回線の固定電話、
IP電話、その他#7119を
ご利用いただけない場合

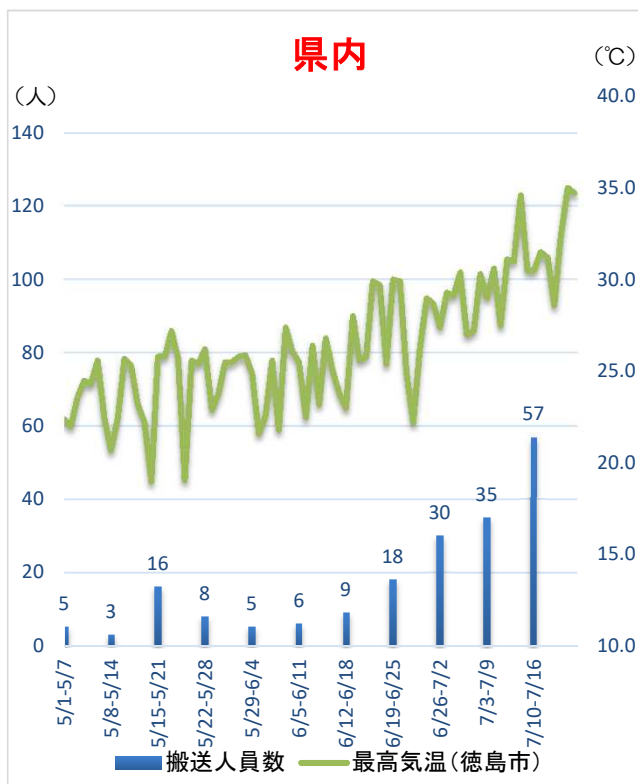
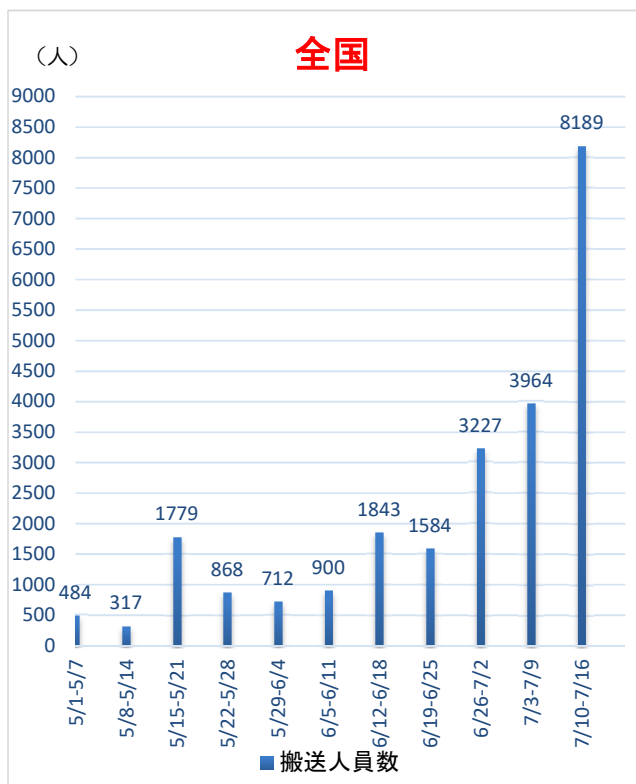


088-622-6530

 までお電話を

チラシに関するお問い合わせ：徳島県保健福祉部医療政策課 088-621-2732

令和5年熱中症による救急搬送人員(速報値)



※ 5/1～5/28までは確定値

※ 速報値の救急搬送人数は、後日修正されることがあります。

各消防本部等の救急搬送人員

期間	5.1～ 5.7	5.8～ 5.14	5.15～ 5.21	5.22～ 5.28	5.29～ 6.4	6.5～ 6.11	6.12～ 6.18	6.19～ 6.25	6.26～ 7.2	7.3～ 7.9	7.10～ 7.16	合計
徳島市消防局	2	1	5	2	2	0	2	6	7	9	19	55
鳴門市消防本部	0	0	1	1	1	0	1	2	2	2	0	10
小松島市消防本部	0	0	0	0	0	3	0	0	2	3	5	13
阿南市消防本部	0	1	2	2	2	1	0	5	3	1	11	28
美馬市消防本部	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	6
那賀町消防本部	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	4
美馬西部消防組合消防本部	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3
板野東部消防組合消防本部	0	0	0	0	0	1	1	3	1	4	6	16
板野西部消防組合消防本部	0	0	1	0	0	0	1	0	3	4	5	14
名西消防組合消防本部	1	0	1	0	0	0	1	1	1	1	2	8
海部消防組合消防本部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3
徳島中央広域連合消防本部	2	0	2	0	0	1	0	1	6	4	3	19
みよし広域連合消防本部	0	0	2	1	0	0	0	0	1	2	2	8
勝浦町	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	3
上勝町	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
佐那河内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5	3	16	8	5	6	9	18	30	35	57	192